



黒田武士の語り芝居

つるの恩がえし

於

宿根木公会堂

佐渡民話「鶴女房」が元となったこの物語からは、「弱者への共感」「人間の煩惱と欲」を知ることができます。「つるの恩がえし」の原点である佐渡で、俳優・黒田武士氏が全身全霊で表現します。是非ご覧ください。

平成30年3月31日(土)

開場：15時 / 開演：15時半

入場 無料 ※上演時間 約1時間

出演者：黒田 武士 (俳優)

昭和16年10月28日生、長崎県長崎市出身。長崎新聞社に勤務した後、演劇を志し上京。舞台芸術学院、青年座演劇研究所卒業。青年座演劇部入団。NHK大河ドラマや朝ドラへの出演の他、コカ・コーラやマツダ自動車等のCMで主演を務める。現在はフリーで活動を行う。

上演主旨 (メッセージ)

4歳の時に原爆で身近な人達を失った事や戦争体験が、その後の人生をこれほどまでに狂わせるものかと身をもって感じてきた私としての危機感や、今、日本を覆っている空気感を「つるの恩がえし」の芝居を通して間接的に表現できればと思っています。

◆北片辺 民話の館 (3月25日(日) 14:00～) と、赤泊総合文化会館 (3月28日(水) 18:00～) でも公演を行います。上演後は、皆で気さくに語りましょう！

